

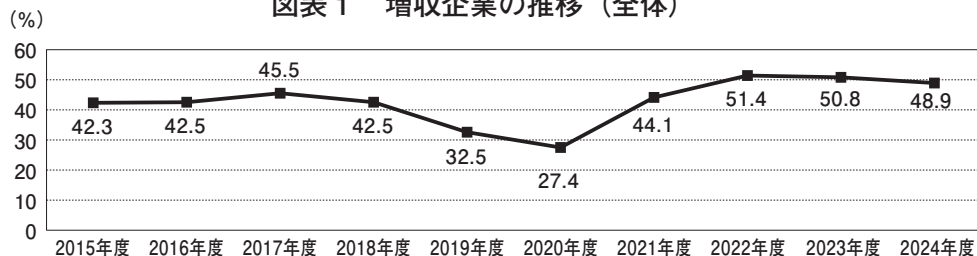
東京都中小企業収益動向調査

－ 2024年度の収益動向と2025年度の収益見通し－

1. 2024年度の売上高の状況

2023年度（令和5年度）と比較した2024年度（令和6年度）の売上高の状況は、増加した企業（以下、「増収企業」という）が48.9%、減少した企業（以下、「減収企業」という）が51.1%となった。前回調査と比べて増収企業の割合は1.9ポイント減少した。

図表1 増収企業の推移（全体）

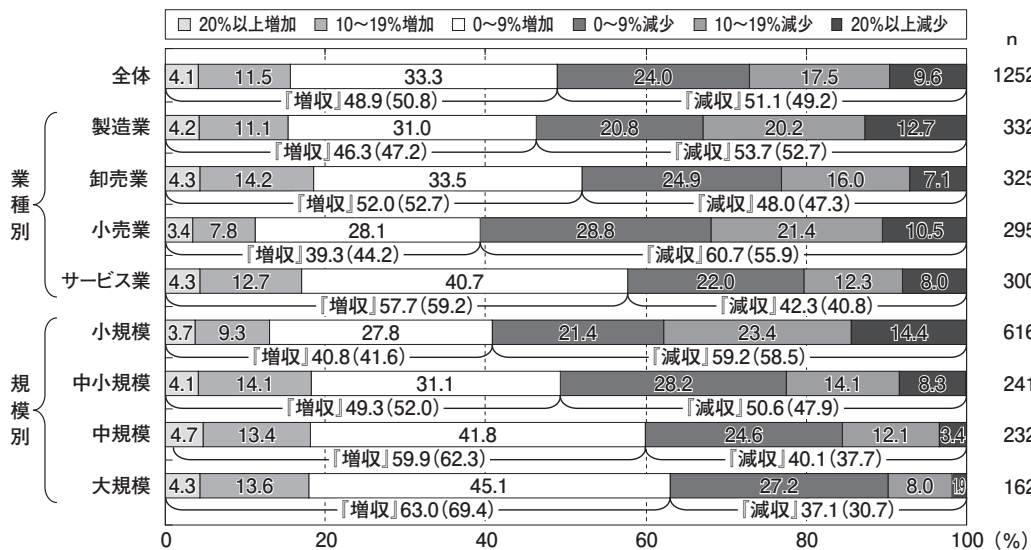


注) 無回答を除き集計。

業種別にみると、前回調査と比べて全ての業種で増収企業の割合が減少し、なかでも小売業は39.3%（前回調査44.2%）と4.9ポイント減少した。

規模別にみると、規模が小さくなるほど減収企業の割合が高くなり、小規模は59.2%（同58.5%）となった。

図表2 2024年度の売上高の状況（業種別・規模別）

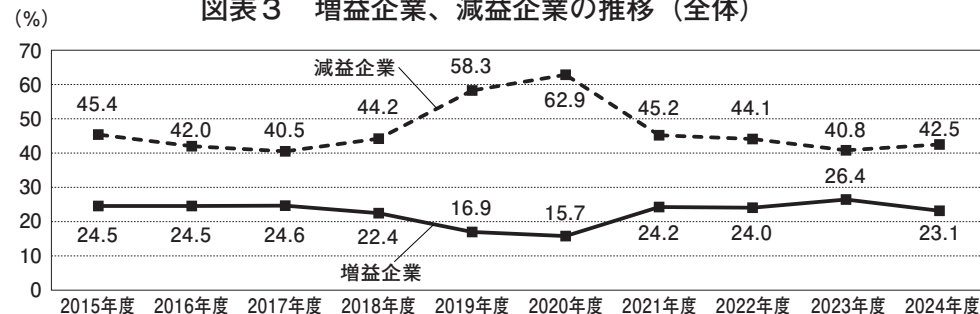


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査（令和6年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. 2024年度の経常利益の状況

2023年度（令和5年度）と比較した2024年度（令和6年度）の経常利益の状況は、増加した企業（以下、「増益企業」という）が23.1%、減少した企業（以下、「減益企業」という）が42.5%となった。前回調査と比べて増益企業の割合は3.3ポイント減少し、減益企業の割合は1.7ポイント増加して経常利益の状況は悪化した。

図表3 増益企業、減益企業の推移（全体）

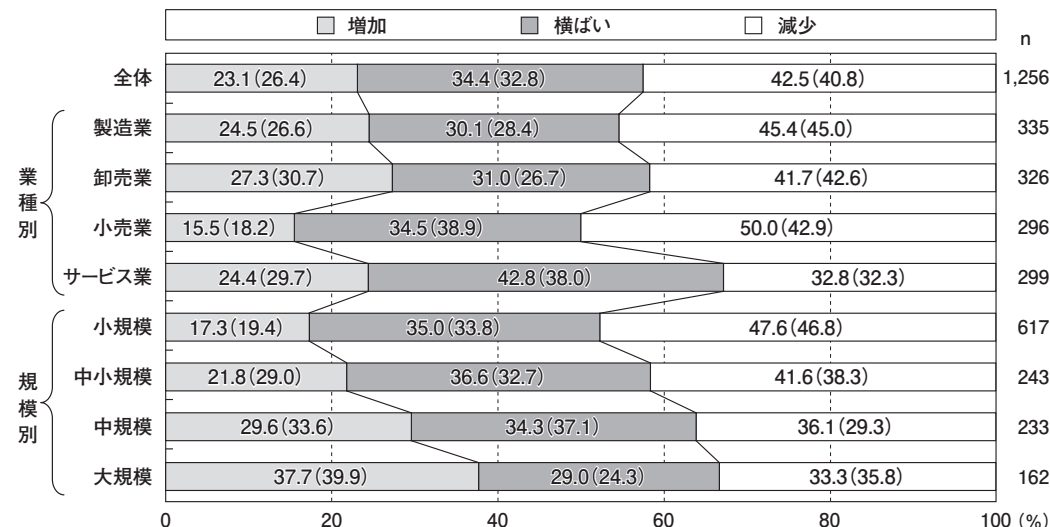


注) 無回答を除き集計。

業種別にみると、前回調査と比べて減益企業は小売業が50.0%（前回調査42.9%）と7.1ポイント増加、サービス業は32.8%（同32.3%）と0.5ポイント増加、製造業は45.4%（同45.0%）と0.4ポイント増加した。

規模別にみると、規模が小さくなるほど減益企業の割合が高くなり、小規模は47.6%（同46.8%）となった

図表4 2024年度の経常利益の状況（業種別・規模別）



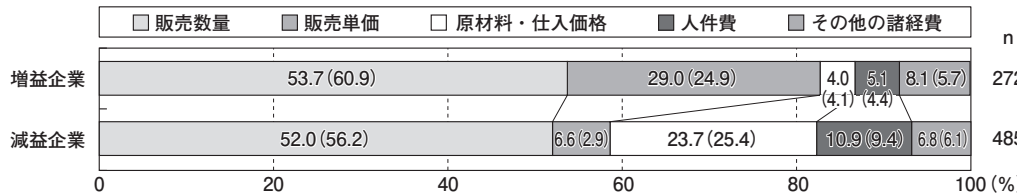
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査（令和6年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

3. 経常利益増減の主な要因

2024年度（令和6年度）の経常利益増減の主な要因を増益企業で見ると、「販売数量」が53.7%（前回調査60.9%）と最も高く、次いで「販売単価」が29.0%（同24.9%）となった。前回調査と比べて「販売数量」は7.2ポイント減少し、「販売単価」は4.1ポイント増加した。

また、減益企業で見ると、「販売数量」が52.0%（同56.2%）と最も高く、次いで「原材料・仕入価格」が23.7%（同25.4%）となった。前回調査と比べて「販売数量」は4.2ポイント減少し、「販売単価」は3.7ポイント増加した。

図表5 増益、減益企業別の経常利益増減の主な要因

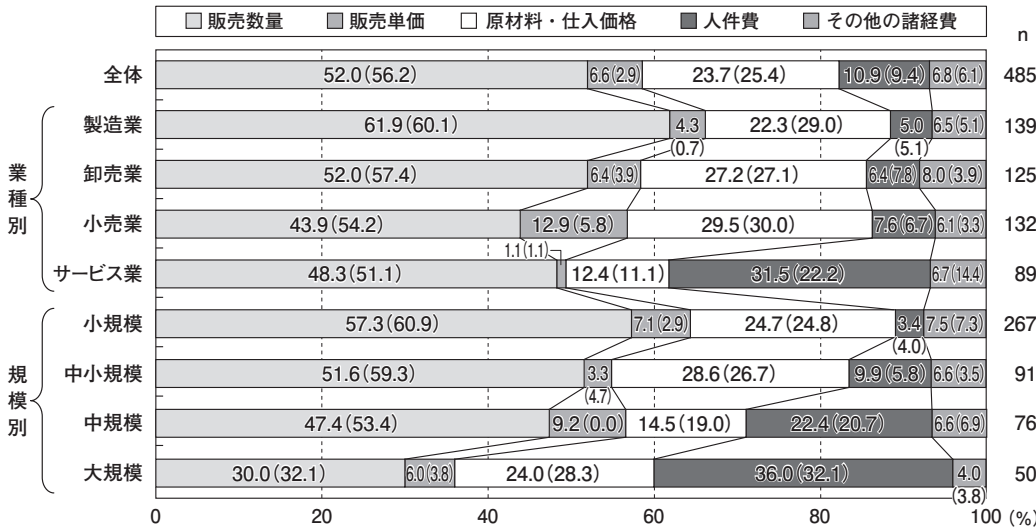


注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和6年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

減益企業における経常利益減少の主な要因を業種別にみると、前回調査と比べて製造業、卸売業、小売業は「販売単価」が増加し、なかでも小売業は12.9%（同5.8%）と7.1ポイント増加した。他の業種に比べてサービス業は「人件費」が31.5%（同22.2%）と高い。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模は「人件費」が36.0%（同32.1%）と高い。

図表6 経常利益減少の主な要因（業種別・規模別）

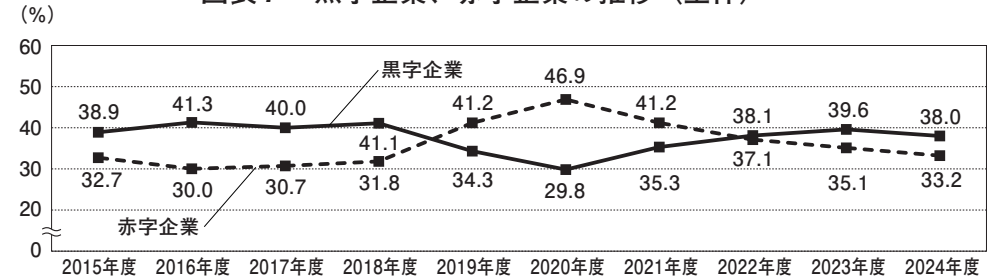


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和6年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 2024年度の採算状況

2024年度（令和6年度）の採算状況は、黒字企業が38.0%、赤字企業が33.2%となり、3年連続で黒字企業が赤字企業を上回った。

図表7 黒字企業、赤字企業の推移（全体）

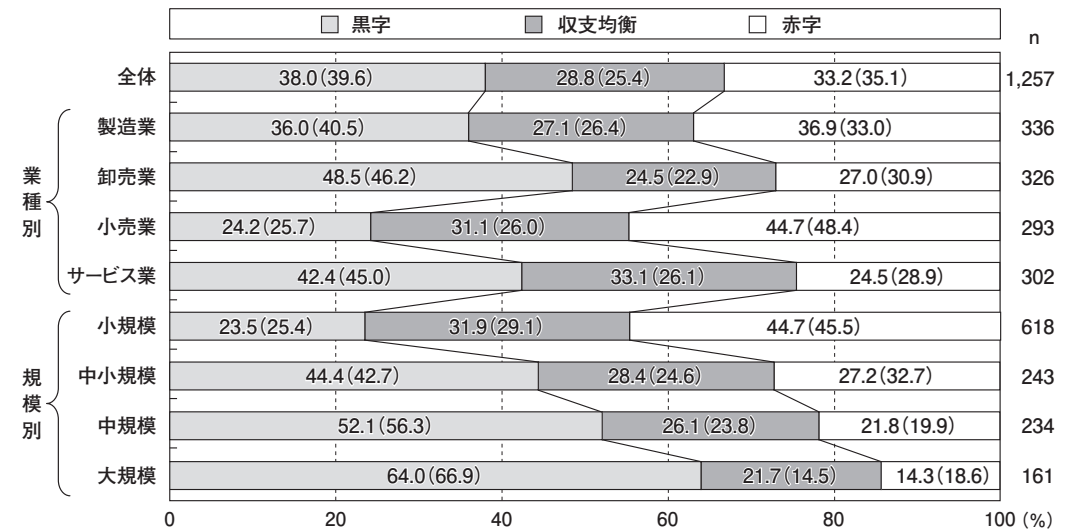


注) 無回答を除き集計。

業種別にみると、製造業の「黒字」は36.0%（前回調査40.5%）と4.5ポイント減少し、「赤字」は36.9%（同33.0%）と3.9ポイント増加して採算状況は悪化した。他の業種に比べて小売業の「赤字」は44.7%（同48.4%）と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「黒字」が高くなり、大規模は「黒字」が64.0%（同66.9%）となった。

図表8 2024年度の採算状況（業種別・規模別）

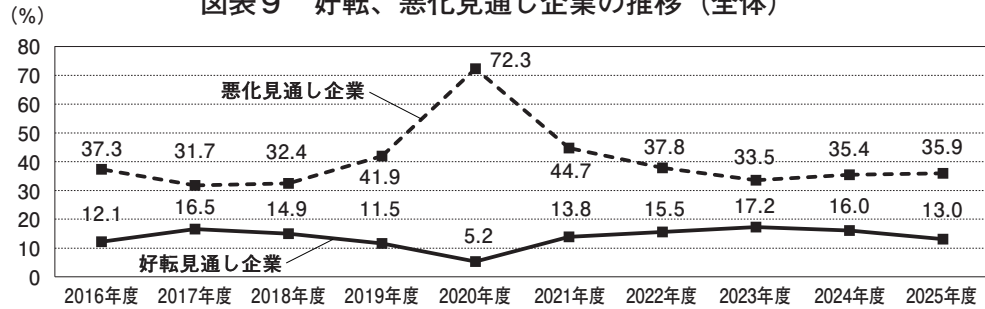


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和6年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 2025年度の収益見通し

2025年度（令和7年度）の収益見通しは、好転見通し企業が13.0%、悪化見通し企業が35.9%となった。前回調査と比べて好転見通し企業の割合は3.0ポイント減少し、悪化見通し企業の割合は0.5ポイント増加した。

図表9 好転、悪化見通し企業の推移（全体）

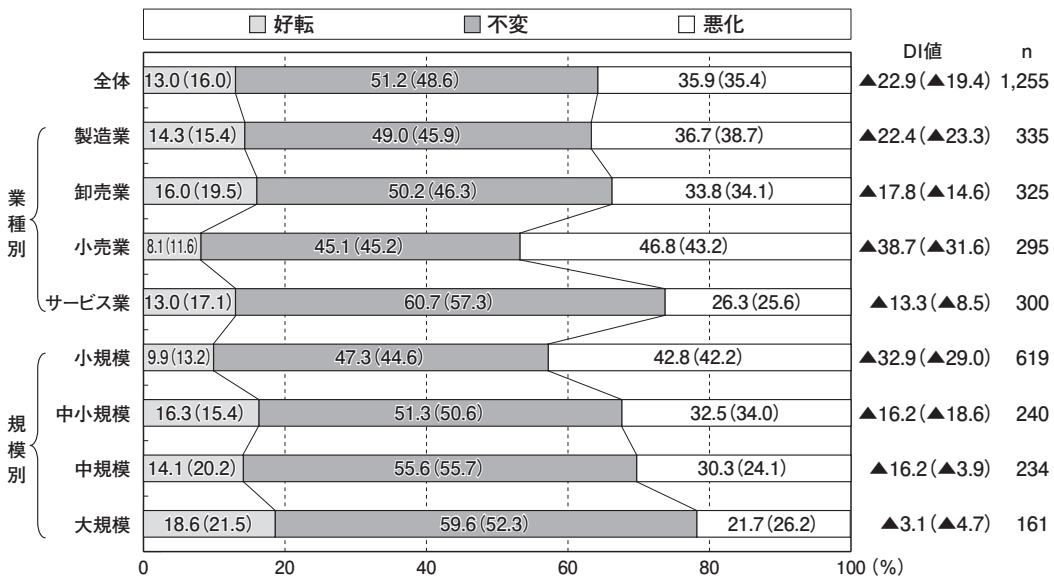


注) 無回答を除き集計。

業種別に収益見通しをDI値（好転－悪化）でみると、前回調査と比べて卸売業、小売業、サービス業は悪化した。なかでも小売業▲38.7（前回調査▲31.6）は7.1ポイント減少した。

規模別に収益見通しをDI値でみると、前回調査と比べて中小規模▲16.2（同▲18.6）は2.4ポイント増加、大規模▲3.1（同▲4.7）は1.6ポイント増加した。一方、中規模▲16.2（同▲3.9）は12.3ポイント減少、小規模▲32.9（同▲29.0）は3.9ポイント減少して収益見通しは悪化した。

図表10 2025年度の収益見通し（業種別・規模別）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査（令和6年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。